



が適切に実施される仕組みが導入された。今後安全の確保が図られるものと考ええる。

◆ 体育施設の管理について

問 議会報告会として高校生と懇談した際、利用する中央スポーツ公園について要望があった。改善の見通しは。

答 高校生からの具体的提案はありがたい。夜間照明については、周辺住民の理解を得なければならぬ。土ぼこりは散水設備はあるが効果は十分ではない。表層改修、芝化には多額の事業費がかかる。検討していきたい。

公明党

質問者
山口 恵子
中村 努



持ち時間90分

認知症の支援対策 拡充へ

◆ 認知症への正しい理解を

問 認知症は、早期に発見し適切な医療と介護につなげていくことが重要。対策は。

答 来年度から医師と保健師による「認知症初期集中支援チーム」を設置予定。支援プ



認知症に理解を深め交流する場 オレンジカフェ

ランを作成し対応したい。

問 認知症の人の意見や尊厳が尊重される社会を願っている。啓発や理解を深めるためにサポーターの養成は重要だが、状況は。

答 平成21年度から養成講座を実施している。中学生も含めこれまで6千923人が受講した。今後も対策の充実を図っていききたい。

◆ SDGs（持続可能な開発目標）について

問 国連サミットで採択された国際目標は17項目で地方創生や市の街づくりに反映する。特に貧困対策や、ジェンダー平等の実現が重要だが、市の取り組みは。

答 国際目標の理念は共有している。貧困対策は子どもの将来や社会に影響があるため、「子どもの未来応援会議」でひとり親等への経済的支援な

ど検討している。日本のジェンダー（社会的な男女差）の評価は低く課題である。市では女性相談やセミナー等行っている。

問 女性への暴力を防ぐためには啓発や予防教育が必要だが、対応は。

答 学校関係者対象に専門家によるDV等の講演会を実施し教師の反響が大きかった。

◆ プログラミング教育始まる
問 2020年度から小学校でのプログラミング教育が必須化される。理論的に考える力を養うことが目的とされるが、専門的な人材や環境の整備が課題となっている。市の状況はどうか。

答 プログラミングを主体的・創造的に学びながらIT技術の活用により、子ども達が将来自立的な社会人として生活し、課題解決やビジネスチャンスにつなげていける。今後は指導する人材の確保が必要となる。

問 市のICT人材育成事業の取り組み内容は。

答 多くの専門家の意見を参考に小中高校生を対象に興味をもてる講座を実施している。参加者の反響も大きい。

要望 先行して実施している

市の事業と連携を図り子ども達に楽しく学べる教育環境をお願いしたい。

◆ 農業・生活に安心感を

問 農業生産者の高齢化と人材不足は深刻。「ねこの手くらぶ」は労働力として欠かせないが支援が受けられない実態がある。対策が必要では。

答 状況は認識している。人材確保や労福連携を検討しモデルケースを整えたい。

◆ 村井駅周辺の街並み整備
問 松本市のJR村井駅周辺の整備計画が示され新たに西口が整備される予定。吉田地区の村井駅利用者等が東口や西口を安全に利用できるように道路整備が必要だが、実施する考えは。

答 松本市と連携を図り、隣接する道路整備は時間差のない対応をしたい。



西口が整備される予定のJR村井駅